

\*1

藤嶋 一郎\*<sup>2</sup> 磯崎 秀夫\*<sup>3</sup>

## Chopped Carbon Fiber for FRTP, “Xylus”

Ichiro Fujishima, Hideo Isozaki

### 1 はじめに

炭素繊維の用途は航空・宇宙産業やスポーツ用に偏っていたが、



コンパウンド工程不要……Dシリーズ  
電気抵抗調整……………Rシリーズ  
表面平滑性,寸法安定性…Mシリーズ  
C, D, Rシリーズはチョップドストランドの形状で, Mシリーズは粉状で供給される。Mシリーズはサイジング剤を施しているが、また、それぞれのシリーズでも高撹動性を發揮できる。

上に達し, 金属部品のプラスチック化も可能になる。

#### 4 Dシリーズの樹脂配合特性

一般に炭素繊維などのフィラーを樹脂に配合するためには, 成形に先立ち樹脂ペレットとフィラーを複合化するコンパウンド工程

現在は2グレード(G,I), 4シリーズ(C,D,R,M)の組合せで

ガラス繊維は細目の対応できるのが最大の特色である

が必要である。

Dシリーズはコンパウンド工程を省略し、樹脂ペレットと並に直

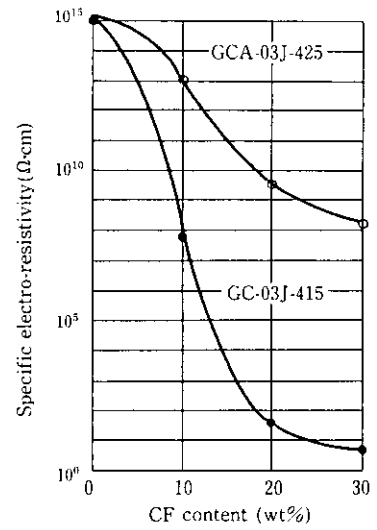
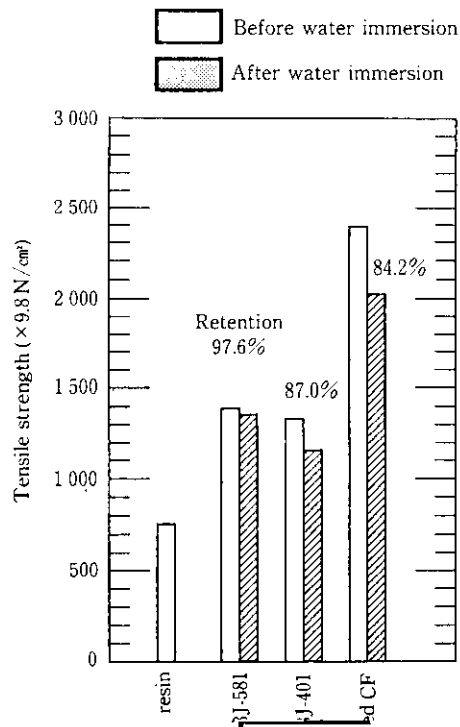


Fig. 4 Specific electro-resistivity of Xylus-GC & Xylus-GCA CF RTP(POM)

それぞれ配合した場合の体積固着抵抗を比較した。Cシリーズで